

ショッパー Shopper

名古屋から鳥取へ
2022年春号

春の鳥取へ

はくびせん

～伯備線で行く 「鳥鐵駅印」巡り～

鳥取県が、鉄道を使って県内の旅を楽しんでもらおうと、駅のご朱印「鳥鐵(とりてつ)駅印」を作成。その第1弾が、県西部を南北に走るJR伯備(はくび)線で行われています。砂丘もいいですが、この春は10駅・約52kmのローカル線に注目です。

企画・制作/中日新聞広告局



こだわりの駅印と駅印帳

伯備線は、米子と関西方面を結ぶ特急「やくも」や寝台特急「サンライズ出雲」も往来し、重要路線の一つとされています。沿線は自然にあふれ、歴史を秘めたスポットも点在。今回はいったん米子まで行き、伯耆町の伯耆大山(ほうきだいせん)駅を南下することにしました。

まずは米子駅構内の米子市国際観光案内所で情報収集。話を伺った職員の入江陽介さんは、1日で鳥取県内の全ての路線に乗りしたほどの鉄道ファンです。「鳥鐵駅印は縦13cm、横9cmの紙に、県内の伯備線10駅周辺の名所や風景が描かれています。駅印を貼る『鳥取鐵印帳』伯備線編の表紙は、

国鉄色の『やくも』です。聞けば、国鉄時代の特急電車としては最後の車両(381系)で、「細かいディテールまでこだわった、鉄道ファンも納得の表紙となりました」と入江さん。なんと今月からは、この国鉄色のやくもが復活運行しているそうです。駅印と駅印帳は、観光

案内所や道の駅などで販売。JRの乗車券の提示で購入でき、全10駅分集めると記念ポスターがもらえます。

伯備線は特急の停車駅を除くと、電車は1時間に1本足らず。途中下車をして周辺を散策するのが列車旅の醍醐味とはいえ、タイミングを逃すと「待ち時間って、実はぜいたくなもの。車窓をただ眺めるのもそうです。伯備線でぜひ、普段とは違う時間の進度に身をゆだねてみてください」

米子駅から山陰本線で伯耆大山駅まで行き、伯備線に乗り換えていよいよ出発。列車はカーブを描き山陰本線と分かれ、左手に秀峰・大山の雄姿を望み、単線の線路を進みます。牧歌的な農山村や並行する日野川は、車窓からの定番的な眺め。日野川は鉄橋を渡るたびに車窓の

乗車中も下車後も良き時間

米子駅から山陰本線で伯耆大山駅まで行き、伯備線に乗り換えていよいよ出発。列車はカーブを描き山陰本線と分かれ、左手に秀峰・大山の雄姿を望み、単線の線路を進みます。牧歌的な農山村や並行する日野川は、車窓からの定番的な眺め。日野川は鉄橋を渡るたびに車窓の

車窓からの定番的な眺め。日野川は鉄橋を渡るたびに車窓の



1.大山の南壁を背に走る伯備線車輪。こちらは電化当時から導入されている115系。2.日野川の鬼守橋。伯耆溝口駅から徒歩10分。3.「道の駅にちなん日野川の郷」のトマトソフトクリーム(税込350円)は、甘みと酸味のバランスが絶妙。生山駅から徒歩20分。4.根雨駅からタクシーで約10分の距離にある金持(かもち)神社。社名から金運のご利益があると評判。5.「味処 四季」のちゃんぽん(税込820円)は、とろみがあり、牛骨を使った深みのある味が特徴。根雨駅から徒歩約10分

散策以外の時間といえば、列車に揺られながら車窓をぼんやりと眺め、無人駅のホームで電車を待つ間も静かに過ごした今回の旅。米子駅に戻り入江さんにそのことを伝えると、うれしそうに言ってくれました。「それは素晴らしい時間でしたね」

問い合わせ

ふるさと鳥取県産業・観光センター(中区栄4-16-36 久屋中ビル5階/電話052-2126215411/FAX052-2126215415)
<https://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>

鳥鐵駅印帳、鳥鐵駅印の購入はココで!

- ◆伯耆大山駅…米子国際観光案内所(電話0859-22-6317)
 - ◆岸本・伯耆溝口の各駅…伯耆町商工会(電話0859-68-2174)など
 - ◆江尾(えび)・武庫(むこ)の各駅…江尾町観光協会(電話0859-75-6007)など
 - ◆根雨・黒坂・上菅の各駅…金持テラスひの特産品売場(電話0859-70-1730)
 - ◆生山・上石見(かみいわみ)の各駅…道の駅にちなん日野川の郷(電話0859-82-1707)
- ※駅印帳は1650円(税込)、駅印は1枚300円(同)。「駅印帳は白と紺色があります」と入江さん(写真)

